# 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日


上場会社名　天馬株式会社　　上場取引所　東
コード番号　7958　URL　http://www.tenmacorp.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 吉田　長幸
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役常務執行役員経営管理部長　(氏名) 堀　隆義　TEL 03-3598-5515

四半期報告書提出予定日　平成23年8月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第1四半期 | 13,537 | 8.7 | 442 | 264.5 | 683 | 122.2 | 311 | ― |
| 23年3月期第1四半期 | 12,459 | 59.9 | 121 | 33.9 | 307 | △56.0 | △1,833 | ― |

(注)包括利益　24年3月期第1四半期　353百万円　(―%)　23年3月期第1四半期　△1,353百万円　(―%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期第1四半期 | 11.28 | ― |
| 23年3月期第1四半期 | △65.28 | ― |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 24年3月期第1四半期 | 68,068 | 57,671 | 84.7 | 2,091.21 |
| 23年3月期 | 67,496 | 57,594 | 85.3 | 2,088.43 |

(参考) 自己資本　24年3月期第1四半期　57,670百万円　23年3月期　57,594百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期 | ― | 10.00 | ― | 10.00 | 20.00 |
| 24年3月期 | ― | | | | |
| 24年3月期(予想) | | 10.00 | ― | 10.00 | 20.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 26,000 | 0.6 | 450 | 14.6 | 600 | 27.1 | 200 | ― | 7.25 |
| 通期 | 56,000 | 5.3 | 2,000 | 106.4 | 2,300 | 149.7 | 1,400 | ― | 50.77 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

| | |
|---|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 24年3月期1Q | 29,813,026 株 | 23年3月期 | 29,813,026 株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年3月期1Q | 2,235,529 株 | 23年3月期 | 2,235,529 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 24年3月期1Q | 27,577,497 株 | 23年3月期1Q | 28,078,158 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」ご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(その他)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書 …… 7
四半期連結包括利益計算書 …… 8
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（４）セグメント情報等 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……10

## １．当四半期決算に関する定性的情報

### （１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災及び原発事故により、企業活動の停滞、消費マインド低下に伴う個人消費の低迷等、深刻な影響を受けました。期の終盤にはサプライチェーン復旧による生産上向き、個人消費の下げ止まり等、持ち直しの兆しも見られましたが、円高の一段の進行、電力の供給不安、世界経済の減速懸念、原油価格の高騰等、先行き不透明感が増しております。

このような厳しい状況の中、当社グループの連結業績は、ハウスウエア合成樹脂製品分野が新製品やカラー企画製品を中心に売上高を伸ばし、また、工業品合成樹脂製品分野は世界的な不況からの回復を背景に受注が増加し、前年同期との比較では旧PT. SUMMITPLAST（平成23年１月にPT. SHOWPLA INDOを吸収合併し、商号をPT. TENMA INDONESHIAに変更）が連結対象に加わったこと等もあり、売上高が増加しました。

この結果、売上高は135億37百万円（前年同期比108.7%）となりました。

利益面につきましては、売上高の増加等により営業利益が４億42百万円（前年同期比364.5%）となり、経常利益は前年同期との比較では為替差損益が改善したこと等により６億83百万円（前年同期比222.2%）となりました。

また、東日本大震災による災害損失等の特別損失があり、３億11百万円の四半期純利益（前年同期は投資有価証券評価損を主因として18億33百万円の損失）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（日本）

デフレの進行と個人消費の低迷が続く厳しい状況にありましたが、ハウスウエア合成樹脂製品分野につきましては、新製品やカラー企画製品を中心に売上高が伸長しました。

この結果、当セグメントの売上高は、54億43百万円（前年同期比110.6%）となり、セグメント利益（営業利益）は４億12百万円（前年同期比581.4%）となりました。

（中国）

世界的な不況からの回復に伴い、工業品合成樹脂製品分野の受注が増加し、地域内の各グループ会社の業績が回復途上にありましたが、東日本大震災の影響で受注の急減に見舞われました。また、前年同期との比較では円高の進行により円貨換算額が縮小しております。

この結果、当セグメントの売上高は、41億13百万円（前年同期比97.8%）となり、セグメント利益（営業利益）は92百万円（前年同期比98.1%）となりました。

（東南アジア）

前年同期との比較では旧PT. SUMMITPLASTが連結対象に加わったこと等により売上高が増加しました。利益面はPT. TENMA INDONESHIAが前年同期比減益となり、地域内の他のグループ会社は増益、ないし横這いとなりました。

この結果、当セグメントの売上高は、39億81百万円（前年同期比119.4%）となり、セグメント利益（営業利益）は１億50百万円（前年同期比82.9%）となりました。

### （２）連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第１四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて５億73百万円増加し、680億68百万円となりました。これは、投資有価証券が時価の下落により２億円減少しましたが、受取手形及び売掛金が５億13百万円、現金及び預金が２億14百万円、それぞれ増加したこと等によります。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて４億96百万円増加し、103億98百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が１億85百万円増加し、未払金や預り金の増加によりその他流動負債が２億94百万円増加したこと等によります。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて77百万円増加し、576億71百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が２億１百万円減少しましたが、為替換算調整勘定が２億42百万円増加したこと等によります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年３月期の第２四半期連結累計期間及び通期連結会計年度の業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成23年５月13日に公表いたしました内容から変更しております。詳細につきましては、平成23年８月５日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧下さい。

## ２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理）

①　税金費用の計算

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## ３．四半期連結財務諸表
### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（平成23年３月31日） | 当第１四半期連結会計期間<br>（平成23年６月30日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 22,164,829 | 22,378,702 |
| 受取手形及び売掛金 | 10,126,059 | 10,638,896 |
| 商品及び製品 | 1,607,527 | 1,763,242 |
| 仕掛品 | 399,158 | 364,318 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,496,818 | 2,611,008 |
| 繰延税金資産 | 303,198 | 203,601 |
| その他 | 1,249,426 | 1,290,807 |
| 貸倒引当金 | △10,532 | △11,962 |
| 流動資産合計 | 38,336,483 | 39,238,612 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 7,026,830 | 6,953,922 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 7,640,812 | 7,743,147 |
| その他 | 3,093,491 | 3,020,439 |
| 有形固定資産合計 | 17,761,133 | 17,717,507 |
| 無形固定資産 | 2,003,271 | 1,911,796 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 7,990,425 | 7,790,716 |
| 繰延税金資産 | 1,153,978 | 1,108,869 |
| その他 | 261,123 | 311,662 |
| 貸倒引当金 | △10,840 | △10,840 |
| 投資その他の資産合計 | 9,394,686 | 9,200,408 |
| 固定資産合計 | 29,159,090 | 28,829,711 |
| 資産合計 | 67,495,573 | 68,068,322 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 6,699,457 | 6,884,624 |
| 未払法人税等 | 42,060 | 54,713 |
| 賞与引当金 | 444,030 | 542,746 |
| 災害損失引当金 | 58,004 | 50,114 |
| その他 | 1,781,016 | 2,075,147 |
| 流動負債合計 | 9,024,567 | 9,607,344 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 186,455 | 145,012 |
| 役員退職慰労引当金 | 580,366 | 577,676 |
| 資産除去債務 | 10,365 | 9,898 |
| 繰延税金負債 | 100,144 | 57,783 |
| 固定負債合計 | 877,330 | 790,368 |
| 負債合計 | 9,901,897 | 10,397,712 |

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（平成23年３月31日） | 当第１四半期連結会計期間<br>（平成23年６月30日） |
|---|---|---|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 19,225,350 | 19,225,350 |
| 資本剰余金 | 18,924,500 | 18,924,500 |
| 利益剰余金 | 26,613,843 | 26,649,259 |
| 自己株式 | △3,163,717 | △3,163,717 |
| 株主資本合計 | 61,599,976 | 61,635,392 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △969,849 | △1,170,823 |
| 為替換算調整勘定 | △3,036,455 | △2,794,145 |
| その他の包括利益累計額合計 | △4,006,304 | △3,964,968 |
| 少数株主持分 | 5 | 186 |
| 純資産合計 | 57,593,676 | 57,670,610 |
| 負債純資産合計 | 67,495,573 | 68,068,322 |

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

| | 前第１四半期連結累計期間<br>（自 平成22年４月１日<br>至 平成22年６月30日） | 当第１四半期連結累計期間<br>（自 平成23年４月１日<br>至 平成23年６月30日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 12,458,895 | 13,536,739 |
| 売上原価 | 10,603,651 | 11,215,873 |
| 売上総利益 | 1,855,244 | 2,320,866 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,734,007 | 1,878,939 |
| 営業利益 | 121,237 | 441,927 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 39,366 | 34,511 |
| 受取配当金 | 207,215 | 174,046 |
| 為替差益 | － | 46,257 |
| その他 | 17,150 | 28,762 |
| 営業外収益合計 | 263,732 | 283,577 |
| 営業外費用 | | |
| 売上割引 | 15,722 | 19,543 |
| 開業費償却 | － | 13,981 |
| 為替差損 | 40,632 | － |
| その他 | 21,479 | 9,406 |
| 営業外費用合計 | 77,833 | 42,930 |
| 経常利益 | 307,135 | 682,574 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 11,029 | 893 |
| 貸倒引当金戻入額 | 221 | － |
| 負ののれん発生益 | 397,135 | － |
| 特別利益合計 | 408,384 | 893 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | － | 11,547 |
| 固定資産除却損 | 95 | 354 |
| 減損損失 | 6,000 | － |
| 投資有価証券評価損 | 3,506,795 | － |
| 特別退職金 | － | 94,981 |
| 災害による損失 | － | 57,366 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 10,372 | － |
| その他 | 23,170 | 73 |
| 特別損失合計 | 3,546,431 | 164,320 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△） | △2,830,911 | 519,147 |
| 法人税等 | △998,271 | 207,949 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△） | △1,832,640 | 311,198 |
| 少数株主利益 | 178 | 0 |
| 四半期純利益又は四半期純損失（△） | △1,832,818 | 311,197 |

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

| | 前第１四半期連結累計期間<br>（自　平成22年４月１日<br>至　平成22年６月30日） | 当第１四半期連結累計期間<br>（自　平成23年４月１日<br>至　平成23年６月30日） |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△） | △1,832,640 | 311,198 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 202,150 | △200,973 |
| 為替換算調整勘定 | 277,400 | 242,304 |
| その他の包括利益合計 | 479,549 | 41,331 |
| 四半期包括利益 | △1,353,091 | 352,529 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △1,346,916 | 352,520 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | △6,175 | 8 |

（３）継続企業の前提に関する注記

当第１四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日)

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

前第１四半期連結累計期間(自　平成22年４月１日　至　平成22年６月30日)

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 日本 | 中国 | 東南アジア | 合計 |
|---|---|---|---|---|
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 4,919,844 | 4,205,489 | 3,333,561 | 12,458,895 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 26,551 | ― | ― | 26,551 |
| 計 | 4,946,395 | 4,205,489 | 3,333,561 | 12,485,446 |
| セグメント利益 | 70,799 | 93,451 | 180,910 | 345,161 |

２　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

| 利益 | 金額 |
|---|---|
| 報告セグメント計 | 345,161 |
| セグメント間取引消去 | 8,542 |
| 全社費用(注) | △232,466 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 121,237 |

(注)　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門に係る費用であります。

３　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「東南アジア」セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間より、新たに取得したPT. SUMMITPLASTを連結の範囲に含めております。

なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては397,135千円であります。

当第１四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日)

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 日本 | 中国 | 東南アジア | 合計 |
|---|---|---|---|---|
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 5,442,669 | 4,113,105 | 3,980,964 | 13,536,739 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 52,291 | 8,532 | ― | 60,823 |
| 計 | 5,494,960 | 4,121,638 | 3,980,964 | 13,597,562 |
| セグメント利益 | 411,609 | 91,722 | 149,958 | 653,289 |

２　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

| 利益 | 金額 |
|---|---|
| 報告セグメント計 | 653,289 |
| セグメント間取引消去 | 3,500 |
| 全社費用(注) | △214,862 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 441,927 |

(注)　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門に係る費用であります。

３　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第１四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日)

該当事項はありません。